

秋の全国カンファレンス開催

売上高74・5億円目指す

ホロスグループ

ホロスグループは9月19日、大阪市北区の帝国ホテル大阪で「39th HOLS Group 秋の全国カンファレンス」を開催した。今回のテーマは「レバンス・イノベーション」をつなぐ・つながる・顧客との共感。カンファレンスでは、ホロスホールディングスの堀井計社長がホロスグループの今後のビジョンと戦略を発表し、2019年度(20年7月期)は売上高74・5億円を目指すことを強調した。当日は、同社の社員や保険会社の社員など約400人が参加した。

グループから取り組んでいきたいという意味を込めた」と述べた。また、「今回は社員や将来設計士などを混ぜた円卓形式にしている。ぜひレバンスについてディスカッションしてもらいたい」と語った。

カンファレンスではまず、ビジネス書作家でテレビコメンテーターも務める木暮太一氏が「共感を得られる伝え方」をテーマに基調講演した。



約400人が参加

堀井社長は、ホロスグループの「レバンス・イノベーション」について、顧客や取引先、社員、将来設計士など、全てのつながりにレバンスが必須であり、そのためには「心理的安全性」がベースになるとし、「そもそも保険ビジネスは顧客に心理的安全性を届けることが仕事だ。当社グループも心理的安全性を追求していく必要がある」と指摘した。

また、国内生保業界は今後、ヘルスケア産業の領域に統合され、保険金支払いから国民の健康寿命の延伸にミッションが変わっていくとし、「こうした変化は代理店ビジネスにも影響を与える。保険ビジネスだけでなく、総合生活支援業に進化していくことが求められるのではないかと考えた」との考えを示した。

最後にレバンスアワードが行われ、ホロスホールディングス、ホロスプランニング、エルティヴィー、HOLS-BOARD RAIN、JPD清水において活躍した社員と、ホロスプランニング(将来設計士)の損保実績、生保法人・個人実績の上位者を表彰した。

(注) 必要だと思ふことを必要な時に気兼ねなく声を上げられる心理的環境の状態。



今村取締役



堀井社長



木暮氏

「まずは自信を持ち、コミュニケーションの型を身に付けることが必要だ」と述べた。また、話がうまく伝えられない原因として、①興味を引けない②整理で

「まずは自信を持ち、コミュニケーションの型を身に付けることが必要だ」と述べた。また、話がうまく伝えられない原因として、①興味を引けない②整理で

「まずは自信を持ち、コミュニケーションの型を身に付けることが必要だ」と述べた。また、話がうまく伝えられない原因として、①興味を引けない②整理で

「まずは自信を持ち、コミュニケーションの型を身に付けることが必要だ」と述べた。また、話がうまく伝えられない原因として、①興味を引けない②整理で

レバンス・イノベーションで規模拡大へ

「まずは自信を持ち、コミュニケーションの型を身に付けることが必要だ」と述べた。また、話がうまく伝えられない原因として、①興味を引けない②整理で